

特集

# 子育てのことや 学校生活のこと 気軽に相談を！

今年4月に開設した「子ども総合相談センター」では、  
子供に関する様々な相談に対応しています。  
センターの役割とその利用方法について紹介します。



①保護者から相談を受ける、作業療法士の池原光代子さん



友達・親・先生と  
うまくいかない



同年齢の子供と比べて  
言葉が遅い



自分の子育てに  
自信が持てない



学校に行けない



児童虐待かも  
しれない



いじめに  
遭っている

②子育てを応援する  
あさピコ

## 分散していた相談窓口を集約

これまで、子供に関する相談は、  
内容や子供の年齢によって窓口が  
分散していました。「子ども総合  
相談センター」は、分散していた  
窓口を集約し、子供に関する相談  
のワンストップ窓口として、より  
相談しやすく、きめ細やかな対応  
や必要な支援につなげることを目  
的に開設しました。

## 18歳までの 子供に関する相談を

おおむね18歳までの子供全般に  
関する相談に応じ、専門職員が助  
言や支援を行います。子供の心身  
の発達や発育に関すること、学校

こんなときは  
相談しよう



## 子供からの相談を専用電話で

新たに、子供自身からの相談に  
応じる「子どもホットライン」を  
設置。フリーダイヤルで受ける専  
用電話で、他には電子メールでも  
相談できます。詳細は7ページで  
紹介します。

「こんなこと相談してもいいのかな」と  
ためらわずに、まずは相談を

**必要があれば面談や支援を**

「こんなこと聞いてもいいのかな」とためらわずに、お電話いただけるとうれしいです。電話で助言して様子を見ることもあれば、面談してから必要な支援につなげることもあります。プレイルームもあるので、気軽に利用してください。



おおにし かなこ  
保育士の大西佳菜子さん



さとう ともみ  
心理士の佐藤友美さん

**保護者の気持ちの支えに**

子供の相談を通して、親御さんが不安やつらさを抱えながら今まで頑張ってきたのだなど感じることもあります。こうした保護者の気持ちを支えるのもセンターの役割です。話をするだけでも気持ちが楽になるかもしれません。

**虐待かな?と思ったら**

周囲で虐待が疑われることがあったら、匿名でも構わないのでお電話ください。虐待かどうかは、調査の上、専門機関が判断します。問題がなければ良いのですが、場合によっては関係機関と連携して、速やかに対応しなければなりません。



児童虐待にも対応する  
ながた かずよし  
長田一芳さん



スクールソーシャルワーカーの  
ほそかいまさあき  
細貝雅章さん

**困ったらSOSを**

子供の問題の背景には、現代社会の深刻な問題が重なっていることがあります。困ったら、助けを求めSOSを発信していいんだよと、保護者にも子供自身にも伝えたいです。相談することで、解決の糸口が見つかるかもしれません。

北海道子どもの虐待防止協会道北支部 虐待防止講演会

**子どもの心に寄り添うということ**

～東日本大震災における子どもの心のケアに携わった経験から見てきたこと

とき 7月2日(土) 午後1時30分～4時30分

ところ 大雪クリスタルホール(神楽3の7)

定員・料金 250人・1,000円

【詳細】子ども総合相談センター 電話26・5500

話を聞いて  
もらうだけでも  
楽になるよ!



**専門の職員が対応**

同センターで相談に対応するのは、心理士・保健師・保育士・作業療法士・教職経験者など、専門的な知識とキャリアを持つ職員。相談者から連絡があると、相談内容に応じた専門の職員が対応し、助言をしたり面談の予定を立てたりします。

**学校や家庭での様々な悩みも**

就学前の子供については、言葉の遅れや情緒発達に関する相談が多く、小学生以上では、家庭での行動や家庭環境、不登校、いじめなどの相談が多くなっています。相談があると、場合によっては、面談や家庭訪問などを行い、解決策を探って子供を支援します。

守秘義務があるので、相談したことが外部に知れることはありません。

**児童虐待かなと思ったら**

子供を取り巻く問題の1つに、虐待があります。保育所や学校での子供の様子から虐待が疑われることもあります。近所の人の通報や相談から問題が浮かび上がることもあります。地域の皆さんの協力が、子供の命を救うかもしれません。



# 親子で遊べるプレイルームや情報スペースも整備



プレイルーム

愛称は「ときわひろば」。保護者同伴でボールプールやおもちゃで自由に遊べる部屋です。開放日は月・水・木・金曜日の午前10時～12時、午後1時～4時  
※行事等で使えない日もあるので、電話やホームページで確認を。

同センターでは、電話による相談だけでなく、来館して面談したり、プレイルームで子供を遊ばせたり、子育てに関する情報を入手したりすることもできます。また、必要な場合には、言葉や体の発達状態などを確認するための機能も備えています。  
研修会や会議などに利用できる部屋もあるので、ぜひ活用してください。



相談室

子供の年齢に応じて、相談を受ける部屋が異なります。個室なので、安心して相談できます



研修・会議室

研修会や会議、打合せなどに有料で利用できます。事前に申込みが必要です  
※土・日曜日、祝日も利用できます。ただし、年末年始（12/30～1/4）は休み。  
※申込受付は平日の午前8時45分～午後5時15分。

## 子ども総合相談センター

**住所** 10の11（旧常盤中学校）

**開館時間** 平日の午前8時45分～午後5時15分

※電話相談のみ月・木曜日は午後8時まで受付。土・日曜日、祝日、年末年始（12/30～1/4）は休み。

プロニココロオープン  
**電話** ☎26・5500

**電子メール** ✉ kodomosodan@city.asahikawa.hokkaido.jp

※メール相談も受け付けていますが、返信までに数日かかることがあります。急ぎの場合は電話をご利用ください。



### 【利用料金】

研修・会議室 使用料一覧表		午前	午後	夜間
		9時～12時	13時～17時	18時～21時
研修・会議室 1・3 (定員50人)	子供・子育て関係団体等	600円	750円	900円
	一般	1,200円	1,500円	1,800円
研修・会議室 2 (定員100人)	子供・子育て関係団体等	900円	1,050円	1,200円
	一般	1,800円	2,100円	2,400円

※子供・子育て関係団体等の詳細はお問い合わせください。また、季節により別途冷暖房料が掛かります。

※研修・会議室1・2をつなげて、定員150人で利用することもできます。

18歳までの君たちへ!  
ひとりで悩まないで  
相談してね!



例えばこんなとき、気軽に相談してください

- 学校の先生や友達とうまくいかない
- 学校へ行けなくなってしまった
- いじめられている
- 親とうまくいかない
- 家庭にも学校にも居場所がないように感じる
- その他どんなことでも

## 子どもホットライン

「子どもホットライン」は、おおむね18歳までの皆さんの相談に応じる専用電話です。周りの人に相談しづらいことってあるものです。1人で抱え込まずに、ぜひ気軽に相談してください。もちろん匿名で大丈夫。相談の秘密は守るので、外部に知れる心配はありません。

専門家があなたの相談を待っています。

**受付時間** ▶ 午前8時45分～午後5時15分

※月・木曜日は午後8時まで受付。土・日曜日、祝日、年末年始(12/30～1/4)は休み。

相談電話(無料)

こんにちは コール

**0120・528506**

電子メール



**kodomosodan@city.asahikawa.hokkaido.jp**

※メール相談も受け付けていますが、返信までに数日かかることがあります。急ぎの場合は電話をご利用ください。



言語検査室

言葉が遅い・聞き取りにくいなどの相談に言語聴覚士が対応します



地域活動支援スペース

少人数の打ち合わせや学生の自習などに無料で利用できます。子供や子育てに関する図書や情報誌を閲覧することもできます



作業・理学共用検査室

運動発達や体の動かし方についての相談に作業療法士が対応します



子育てに悩んだとき、一人で抱え込まず、子ども総合相談センターに相談してください。同センターの職員は「小さなことでも気軽に相談を」と声をそろえます。特に、子どもホットラインは、悩みを抱える多くの子供にぜひ、利用してほしいです。どんな小さな不安や悩みでも構いません。相談してみませんか。

【詳細】子ども総合相談センター

☎ 26・5500